

地域包括ケアが機能している姿

事例1 花さん(75歳)女性

- ・ ひとり暮らし
- ・ 要介護認定は受けていない
- ・ 家の中で転んだ後、足腰に痛みがあり、新聞をポストに取りに行くことが億くうになっている
- ・ ポストにたまった新聞を見つけた一人暮らしお年寄り見守りサポーターが、地域包括支援センターに相談

- ・ 地域包括支援センターの職員が花さんの自宅を訪問し、状況を確認
- ・ 地域包括支援センターの勧めにより、近隣の医院を受診
- ・ 医師から、筋力低下が見られるので、介護予防教室への参加や外出の機会を増やすなどの取組を勧められる

地域包括ケアにより、住み慣れた
地域での生活をサポート！

医療

- ・ かかりつけ医が必要な治療を行うとともに、花さんの支援に必要な医療的な情報を、花さんの同意を得て、関係機関に提供

予防

- ・ 地域の学区で開催される健康すこやか学級への参加
- ・ 近所のまちの居場所に出かけ、様々な世代の方と交流するとともに、地域介護予防推進センターの保健師が実施する介護予防教室に参加
- ・ 老人福祉センターで開催される趣味のサークルへの参加

住まい

- ・ 京都市介護予防安心住まい推進事業を利用した住宅改修

生活支援サービス

- ・ 一人暮らしお年寄り見守りサポーターや老人福祉員による見守り

